

第4回(令和8年8月開催)番組審議会議事録

令和8年8月30日

玉島テレビ放送株式会社

1. 開催年月日 令和8年8月19日(水)19時～20時

2. 開催場所 玉島テレビ放送株式会社役員室

3. 委員の参加

委員総数：7名 参加：7名

出席委員の氏名

委員長	瀧澤 厚志
委員	赤澤 美佐子
委員	家城 七虹
委員	香西 哲郎
委員	林 洋代
委員	松尾 健一
委員	柳本 大地

玉島テレビ放送株式会社側の出席者

専務取締役	猪木 直樹
制作部部长	二宮 丈晴
制作部課長	佐藤 慎一
制作部	小山 紘明
制作部	板野 秀平

4. 前回いただいたご意見について

- ・映像インパクトについては、番組全般でインパクトを重視する方向で対応済みです。イベント情報の周知については、番組内での紹介は難しい場合がありますが、可能な限り情報提供を継続する方針です。番組内でのテロップ・画像の充実については、テロップおよび画像をすでに増やしており、引き続き対応していきます。

5. 議 題

【サイクリング板野 花の便り】

<委員意見>

- ・早朝・暗い時間帯からのスタートのため、撮影場所・走行位置がわかりにくいという意見が複数委員から出た。小さな地図を随時表示し、今どこを走っているかを示す工夫を求める声があった。
- ・自転車からの映像は他のテレビでは見られない新鮮な視点として好評。
- ・今回初めてゲスト（町内会長を務める地域の方）を迎えた試みは「ほっこりする」「人との関わりが見える」と好評。一方、ゲストとの掛け合い場面で出演者の顔が映る機会が少なく、もう少し顔出し映像が欲しいという意見があった。
- ・30分の尺について「同じテンポが続き長く感じた」という意見があった。
- ・シリーズ化やYouTubeへの1時間・20分など複数尺のコース動画配信、視聴者が同じコースを歩いたり、自転車で走れるような活用を提案する意見があった。
- ・番組冒頭に「どういう番組か」の説明・趣旨提示があると視聴者が心構えを持って見られるという意見があった。
- ・今後のゲストについて、景色に詳しい地域の方を広く募って情報提供を受けながら行き先を決める方法も提案された。
- ・委員がYouTube経由で視聴した際、YouTubeの自動字幕機能が作動し誤字・脱字が多い字幕が表示されていた。
→玉島テレビ側より説明：本放送（玉島テレビ放送）では正確な字幕を確認・使用しており、YouTube上の自動字幕はYouTubeのAI機能によるもので制作側が制御できない。視聴者がYouTube側で字幕をオフにする必要がある旨を説明した。

【歩いて巡ろう！瀬戸内倉敷ツーデーマーチ】

<委員意見>

- ・番組冒頭にハイライト映像があり趣旨がわかりやすかったと好評。
- ・地図表示・現在地の説明が随所にあり、チェックポイントの名所説明も長すぎず短すぎず適切だったと評価された。
- ・テロップの量・バランスも適切との意見。
- ・板野さんのナレーションが上手・わかりやすいと複数委員から評価された。

- ・バラエティ的な演出・出演者の掛け合いが飽きない工夫として機能しており、30分があったという間だったという感想があった。
- ・芝さんのキャラクターについて、「まだキャラクターがつかめなかった」という意見と、「ちょっと大変そうな様子が逆に親しみやすく、視聴者が参加を身近に感じられる」という肯定的な意見の両方があった。芝さんをメインにした番組展開も面白いのではないかという提案もあった。
- ・参加者インタビューが県外からの参加者も含めており、倉敷・玉島の魅力が広く認知されていることが伝わったと好評。
- ・途中でもっと他の参加者への声かけ・インタビューがあると視聴者の参加意欲が高まるのではないかという意見があった。
- ・参加者数・達成率などのデータ（何人が何kmを完走したか等）を番組内で示すと、インパクトが増し視聴者の関心を高められるのではないかという意見があった。
- ・番組を見て「自分も参加したいと思った」という委員が複数いた。
- ・今回のコースは坂や階段が多く体力的にきつそうに見えた。芝さんが疲弊している様子が心配だったという意見もあった。
- ・歴史的背景（例：特定の建物・場所の由来）についてもう少し深掘りした説明が欲しかった。全国規模のイベントであることを踏まえ、玉島以外の視聴者にも伝わる説明を加えてほしいという意見があった。

【その他の意見】

- ・別番組（「なりゆき見聞録」）について、新潟・柏崎訪問の場面で備前の狛犬に関する話題が出たが、深掘りが不十分だったという意見があった。せっかく現地まで取材に行ったのだから、もう少し詳しい説明・背景紹介を加えてほしいという要望があった。
- ・地域の伝統行事（「乙島じゃく取り大会」）の取材について、失敗例の映像のみが放送され、正しい取り方・伝統的な手法の説明がなかったことへの懸念が示された。地元テレビとして伝統の正しい継承を映像で残してほしいという要望があった。
- ・番組予告・放送スケジュールの周知について、放送予定を事前に（できれば1ヶ月分）告知する仕組みがあると、視聴者が録画予約しやすくなる。現状では1週間前分しか番組表で確認できず、見たい番組を見逃すことがあるとのこと。
- ・「戦争の記憶」番組について、委員長より過去に玉島テレビが放送したシベリア抑留に関する映像の録画が残っているか確認・提供を求める発言があっ

た。玉島テレビ側は調査する旨を回答した。また、同番組の YouTube 配信については、使用写真の権利関係上アップロードできない可能性があるため確認が必要との説明があった。

- ・ローカルテレビの役割として、制作側と地域住民が交流する姿・地域密着の姿勢が視聴者に支持されているという意見が複数委員から出た。板野さんのような人材が増え、地域との交流が広がることで視聴者・ファンが増えるのではないかという意見があった。

6. 次回の議題

①「夏休み企画 やまちゃんの自由研究 2026」

(9 月毎週(月) 7 時 30 分～、13 時 30 分～、20 時 30 分～ 再放送予定)

②「根浜通信」

(9 月 21 日 (月) 19 時頃再放送予定)

7. 次回の開催予定

日時：令和8年11月18日(水)19時より

場所：玉島テレビ放送役員室

以上